

## 平成29年度町政懇談会議事録

- 1 日 時 平成29年10月20日（金）10：00～12：00
- 2 場 所 会津大学 中講義室M10（会津若松市）
- 3 出席者 伊澤町長、金田副町長、舘下教育長、武内総括参事、平岩復興推進課長、猪狩建設課長、松本住民生活課長、橋本健康福祉課長、志賀公夫生活支援課長、板倉秘書広報課長、
- 4 町民出席者 2人

### 5 町長あいさつ概要

9月15日に帰還困難区域の復興に向けた「双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画」が内閣総理大臣の認定を受け、双葉町でも除染・解体・インフラ復旧等、復興に向けた動きが本格化する。一日も早い帰還環境の整備に向け、計画に基づく取り組みを早期かつ確実に進めていく。世代を超えて住みたいと思える魅力ある良好な生活環境の創出につなげていきたい。

### ○町内復興の取り組みについて

- 1) 中野地区復興産業拠点は、今年3月の都市計画決定後、地権者の方々に用地の協力をお願いし、町として事業の詳細を詰め、7月21日に福島県から事業認可を取得した。まずは働く拠点を整備し、町内の昼間人口の拡大を図ることにより、小売、飲食、その他民間の立地を誘発し、町復興のさきがけとしたい。  
今後、整備事業の着実な推進を図るため、独立行政法人都市再生機構を活用し、今年度における工事着手、平成30年度における一部供用開始に向け整備を進め、町内事業者の事業再開に向けた立地支援と企業誘致にも取り組んでいく。
- 2) 東日本大震災の大津波により壊滅的な被害を受けた海岸堤防の災害復旧工事が福島県により工事が進められており、平成30年度の完成を目指していたが、2つの工区のうち双葉中浜工区については、平成31年度完成予定となる見通し。
- 3) 海岸防災林については、平成32年度の完成を目指し、クロマツ、アカマツ等を植栽する計画。
- 4) 復興祈念公園については、本年5月に福島県により都市計画決定され、今年7月に「福島県における復興祈念公園基本構想」が策定された。今後は、基本計画が平成30年度中に策定される予定。
- 5) 寺沢地区に設置される復興ICについては、今年6月に着工式が行われ、工事が進められている。平成31年度末に完成予定。
- 6) 復興まちづくり計画(第二次)に記載された施策を具現化させる取り組みとしては、9月5日に、平成29年度第一回復興町民委員会を開催。今年度は、施策のさらなる具現化を進め、年度末に予定している実施計画の改定に反映していく。また役場職員の検討組織として復興まちづくりワーキンググループをつくり、議論を進めている。

○中間貯蔵施設について

- 1) 県内で発生した除染廃棄物の昨年度末までの実績は、町内に確保した保管場へ約10万 $\text{m}^3$ が搬入され、今年度は、9月26日までの実績が約9万9千 $\text{m}^3$ 。搬入元については、平成27年度は県北、県中、浜通りの20市町村から、平成28年度以降は、県北地方、双葉町以北の浜通りの15市町村となっている。
- 2) 用地の契約件数は、9月末時点で、中間貯蔵建設用地全体で、契約者が1,139人(48.3%)、契約済面積が約624ha(39%)である。今後も環境省に対して地権者への丁寧な説明を引き続き強く求めていく。

○生活サポート補助金について

町民の皆さんが10年間の経済負担を少しでも軽減できるよう運用する「中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金」いわゆる「生活サポート補助金」が昨年度から事業を開始し、9月末の平成28年度受給率は66.3%となっている。引き続き受給漏れのないように対応策を講じていく。

○復興公営住宅について

福島県が整備を進めているいわき市勿来酒井地区に建設中の復興公営住宅は、現在、集合住宅の建築工事が進められている。木造戸建て住宅についても10月中旬、工事に着手する予定。今後も平成29年度のできるかぎり早期の入居が可能となるように県に強く働きかけていく。

○医療費の一部負担等の免除、高速道路通行料金について

現在、無料措置が実行されているが、高速道路通行料金については、平成32年3月31日まで無料措置の延長の方針が示され、利便性の向上のため「ふるさと帰還通行カード」を導入した方法に変わるとの報告を受けている。詳細が決まったら、町民の皆さんにお知らせする。医療費の一部負担等の免除についても引き続き継続されるよう国、及び関係機関に働きかけていく。

6 町からの説明

- (1) 町立学校の状況等について(館下教育長)
- (2) 双葉町復興まちづくり計画(第二次)、特定復興再生拠点区域復興再生計画、平成29年度住民意向調査について(平岩復興推進課長)
- (3) 中間貯蔵施設計画地内町有地の取り扱いについて(猪狩建設課長)
- (4) 町共同墓地について(松本住民生活課長)

7 懇談概要

(町民：男性)

バリエードの時間(9:00~17:00)をもっと早く開けるようにしてほしい。

(松本住民生活課長)

双葉、大熊、富岡、浪江の4町会議で決められることで単独では決められない。早めに立ち入り、明るい時間に帰ることが理想なので会議の場をお願いしていく。

(伊澤町長)

288号線のバリケードは他の町との関係があるので難しいが、双葉町の出入りだけのバリケードについて単独で対応できないか交渉する。安全・防犯の観点から復旧作業の事業者とも調整が必要になる。

(町民:男性)

イノシシが出るが、これはどう対応しているのか。

(伊澤町長)

ワナをしかけており、年間200頭ほど駆除をしているが、天敵がいらないためイノシシが人を恐れなくなってきた。動物保護センターの専門家によると、ワナに引っかかるのは若いイノシシだけと聞く。猟友会等に対応してもらって、イノシシに危険な場所であると意識させることが有効だと思うが難しい。危険を意識させる取組は浪江町で試験をしているので、それをみて対応を検討する。

(町民:男性)

田んぼも放置状態になってしまっている。

(伊澤町長)

渋川地区は特定復興再生拠点区域に入っておらず、除染の見通しが立っていない。拠点外の農地が荒廃しないように吉野復興大臣に相談した。結果、防火対策として除草や木の伐採剤などの整備は費用が出そうなので、その方向で相談している。

(町民:男性)

鴻草渋川地区でソーラー事業の話が来ているが、説明の順序がおかしいのではないかと。農業委員会は話を把握していなかった。町は把握しているのか。

(伊澤町長)

民間が主体の事業であり、町も情報を共有しているが町がやることではない。事業者から地権者の方々に説明会等を実施してもらっているが、地権者が不安にならないよう、丁寧な説明を事業者にお願いしていく。農業委員会には農地転用の手続きの際、説明は行う。

中間貯蔵施設区域内の町有地の取り扱いについて、9月定例議会でどのように判断するのかとの質問があり、町としては地上権設定で考えているが、ご意見をお伺いしたい。

—意見、質問なし—

(伊澤町長)

ご意見等がなければ了承いただいたと受け止めて良いか。

(町民:男性)

了承した。